

治療と対応

1. 社会性の障害に対して

具体的な役を設定する

友達は、まず一人から

一点突破の全面展開

言葉遣いを具体的に教える

家族の団らんに加える

恥ずかしいということを具体的に教える

感情の理解を促す

2. コミュニケーションの障害に対して

視覚的手がかりで補う

会話のスキルを学習する

比喩的な表現、抽象的な表現やあいまいな表現を避ける

3. こだわりに対して

環境の構造化をする

役割を決めたりすることが有効です。休み時間に「遊んでおいで」と言われてもどうしていいのかわからない。「の遊びで何々の役をする」というような具体的な役を設定できるとできるわけです。

一人でいいから友達になれそうな子を見つけることです。その子との中で自然にソーシャルスキルを身に付けるんですね。一人でいいんです。誰か一人そういう友達がいればいいなと思います。一点突破の全面展開です。友達を作らなければいけないと強く思わないことが大事です。友達は作らなければいけないと強迫的に思ってしまうと本人は非常につらいです。「そこまで思わなくていいんだよ。」教室で一人でいてもその方が楽なことも多いわけですから、そういう意味で、一人でいたいと思う気持ちも大切にしていけないこともあります。

人に不快な感じを与えないように、「こういう言葉を使うとみんな嫌がるんだよ」ということをソーシャルスキルとして教える。敬語の使い分けも具体的に教えることです。

家族でいても意外と輪の中に入っていないことがあります。家族の団らんに加わらせることが大事です。

何が恥ずかしいのかを具体的に教えることも大切です。一つ一つ具体的な事例の中で教えていきます。同時に、感情の理解を促すことにつなげていきます。

例えば、物語を読んだときにも、「主役のこの子はこのときどんなふうにいるんだろうか」というようなことを一緒に考えてみるんです。映画でもテレビでもいいんです。このときのこの人の気持ちについて考えさせる練習をしていかなければならないのです。

聴覚だけの情報は苦手なので、視覚的な手がかりで補う工夫が必要です。

プライドが高くて、「分かりません」と言わないので、「分かりません」と言う技術が身に付いていないことも多いようです。「よく分かりませんって言ったらいいいんだよ」と教えることも大切です。

比喩的な表現、抽象的な表現、あいまいな表現は、できるだけ避けて、具体的に説明することが大切です。

同じ教室で同じことを教えるというような空間的構造化や前もって手順や予定を知らせるといった時間的構造化をすることで安心できます。

過剰な課題でストレスを増大させない

得意分野を生かす



こだわりに こだわらない

4. その他

感覚統合訓練

薬物療法

- ・抗精神薬
- ・抗うつ剤
- ・抗てんかん薬



言葉がけのコツ

「がんばったね」

直球評価！嫌みや皮肉はダメ
具体的に
短い言葉で
すぐに

目に見える形で示すと効果的

は というところが
よくできていました。Good!!

「早く宿題しなさい」

「早く」の程度が
分かりにくいので、
具体的に。

あいまいな表現は避け、
見通しをもてるような
言葉がけ。

時 分までに
ページの をしましょう。

全体への指示

みんなの前で言われたことは、
自分のこととは分かりにくい。

叱るときは...
別の場所で、
プライドの高さを認めつつ、
だめなことはダメ!
と教える。

個別に声をかければ分かる。

課題がよくできると、つい次々難しい課題を与えてしまいがちです。ストレスがかかりすぎていないか確認する必要があります。

興味のあることや、得意分野を活動に組み入れることが大切です。もちろん苦手なこともちゃんとやっていかなければなりません。やっぱり得意なことはやりやすいですね。得意なことは伸ばしてあげて、できないことは「しゃあないな」くらいでちょうどかな？平均化しようとする必要はないのではないかと思います。

高機能自閉症か、アスペルガー症候群かは分からないんですが、大江光さんを作曲家として伸ばしてあげたのは、お父さんの大江健三郎さんとお母さんです。得意なことを伸ばしてあげたらいいということですね。

また、こだわりの部分をなんとか治そうと、こだわりに注目してしまって、実は、こっちがこだわりにこだわってしまっていることもよくあります。周囲がこだわりにこだわらないことが大切です。本人がこだわりにこだわっていても、楽しければそれはそれでええやんとそう思うことが大事です。

自閉症のお子さんと同じように、感覚統合訓練がアスペルガー症候群の場合でも非常に有効だと言われています。

その他、補助的ですが、お薬を使うこともあります。不安が強かったり、イライラが強かったり、興奮しやすいときには抗精神薬が、また、憂鬱^{ゆううつ}な気分になるとき、「死んだ方がましや」とか、こだわりが強くなって生活できないときには抗うつ剤の一種が非常に有効であると言われています。

てんかんには抗てんかん薬を使う場合もあります。

薬物は全員が効くわけではありませんが、非常に有効な場合もあるので、選択肢の一つとして考えておくのがよいと思います。お薬を使うことで症状が軽くなればいいわけで、よくなったらやめたい。そんなふうな治療も必要だと考えています。